

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	事業所の行事としての外出以外に、生活の中で食材の買出しに職員と一緒に出かけたり、仲の良い利用者車同士の少人数制での散歩など、利用者の状態に合わせながら日常的な外出の機会が増えることを期待したい。	食材の買出しを一緒に行くということは、施設の中で話し合い、安全性にかけると判断し現状では行わないが日常の中での外出頻度を増やす。外に出かけるのが「たいぎな」という方もおられる。	入居者の方と話し合い体調を考慮しながら、外へ出て行く目的を持ってもらう。家事参加の中で洗濯を干しに行ったり、取り込んだり、草抜き、庭いじり、花の水遣り、郵便物を取りに行くなど役割を持って外に出る機械を増やしていく。また、近隣へのドライブも気候の良い時期に計画を立てて出かける。	6カ月
2	6	日中、利用者の意思で空けることの出来ない施錠は身体拘束に当たることについて職員間で話し合いを継続し、職員の勤務体制や時間帯によっては鍵をしないで過ごせる工夫についての見当が今後も続くことを期待したい。	施錠が身体拘束に当たることを職員全員が理解し、入居者の方が拘束感を持たないよう常に検討し、安全を第一に考え、日々配慮していくことを目標とする。	拘束感を感じないように計画を立て、職員側から外に出かける声かけをする、安全を確保できる状態でマンツーマンでの外出頻度を増やす。	6カ月
3					カ月
4					カ月
5					カ月